

第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）【概要版】

I 序論

1 策定の趣旨

帯広市では、人口減少に伴う、地域経済の縮小やコミュニティの活力低下などの課題に対応し、持続可能な地域づくりを図るため、2016年2月に本戦略を策定し、人口対策を総合的に推進しています。
社会・経済の変化を見据えるとともに、これまでの取り組みの成果と課題の検証を踏まえ、第2期総合戦略を策定するものです。

2 計画期間

2020(令和2)年度～2024(令和6)年度

3 位置付け

まち・ひと・しごと創生法に規定された「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けるとともに、本市における総合的かつ効果的な人口対策を推進するための基本的な計画として位置付けます。

4 推進体制

帯広市総合戦略本部会議において全体総括や方針決定などを行います。また、地域の関係者の参画を得ながら取り組みの検討や進捗状況の把握、評価・検証などを行います。

5 取り組みの検証・改善

重要業績評価指標(KPI)等を用いて進捗状況を把握し、PDCAサイクルの考え方にに基づき、毎年度検証・改善を行います。

II 現状と課題

1 第1期(2015(平成27)年度～2019(令和元)年度)の状況

(1)人口動態

・総人口：2015年 168,539人 → 2018年 166,889人 ※12月末
・自然動態：合計特殊出生率 2017年 1.42。出生数と死亡数の差が拡大。
・社会動態：2018年 マイナス132人。転出超過が拡大傾向。外国人数は増加。

(2)総合戦略の取り組み状況

・成果： 地域経済の活力は徐々に高まり、農業を核とした新たな産業の創出や、チャレンジ精神あふれる数多くの人材の輩出など、地域の活力ある発展に向けた様々な可能性が広がってきています。
サービスの充実や地域における支え合いなどを通し、子どもや子育て世代、高齢者まで、誰もが安心して暮らし続けられる生活環境づくりが進んできています。

・課題： 合計特殊出生率が低迷している背景には、結婚に対する意識の変化、仕事と生活の両立の難しさ、非正規労働の拡大、子育て・教育に係る経済的負担などがあります。

転出超過が拡大している背景には、大学進学率の上昇や大手企業志向の高まり、大都市圏と地方圏の就労環境の違いなどが影響していると指摘されており、帯広市においても進学や就職に伴う東京圏・札幌市への流出が拡大してきていると見られます。

2 今後の方向性

これまでの取り組みの成果・課題を踏まえながら、まち・ひと・しごとの創生に向けた第1期の4つの基本目標の枠組みを踏襲し、以下の視点で、取り組みを継続的に推進していく必要があります。

・自然動態・社会動態の改善を図り、人口減少をできるだけ抑制する。
・今後、中長期的に続く見込まれる人口減少社会に適応した持続可能なまちづくりを進める。
・増加する高齢者や外国人の活躍を促進するなど人口構成の変化を地域課題の解決へとつなげていく。

III 取り組みの基本方針

1 めざす姿

「人材の交流地点・挑戦の興隆拠点 ～フードバレーとかち～」

2 基本目標

3 今後の取り組みの方向

(1)新たな「しごと」を創り出す

【数値目標】

- 農業産出額
- 創業・起業件数
- 法人市民税(法人税割)の賦課法人数

①農業・食関連産業の振興

【取り組み項目】

- ア) 先進農業の推進
- イ) 海外展開の促進
- ウ) 商品開発・販路開拓支援
- エ) バイオマス利活用の推進

【主な重要業績評価指標(KPI)】

- ・スマート農業普及率
- ・農畜産物輸出量
- 等

②産業基盤の強化

【取り組み項目】

- ア) 創業・起業支援
- イ) 中小企業の経営支援
- ウ) 人材の確保
- エ) 企業集積の促進

【主な重要業績評価指標(KPI)】

- ・創業・起業支援件数
- ・高齢者の就職者数
- 等

③産業人の育成

【取り組み項目】

- ア) 次世代の担い手育成
- イ) 能力開発の支援
- ウ) リーダー人材の育成

【主な重要業績評価指標(KPI)】

- ・事業創発プログラム参加者数
- ・通年雇用促進支援事業参加者数
- 等

(2)十勝・帯広への「ひと」の流れをつくる

【数値目標】

- 移住者数
- 観光入込み客数
- 空港旅客数

①移住・定住の促進

【取り組み項目】

- ア) ふるさと教育の推進
- イ) 移住支援

【主な重要業績評価指標(KPI)】

- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子ども(中学生)の割合
- ・移住相談件数
- 等

②地域特性を活かした“十勝観光”の展開

【取り組み項目】

- ア) 体験・滞在型観光の推進
- イ) スポーツ・コンベンションなどを通じた交流の拡大

【主な重要業績評価指標(KPI)】

- ・ポロシリ自然公園キャンプ場利用者数
- ・市内を会場に開催された大会等の数
- 等

(3)結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】

- 育休制度導入率
- 北海道働き方改革推進企業認定数
- この地域で子育てをしたいと思う親の割合

①結婚・出産の支援

【取り組み項目】

- ア) 結婚・出産を支える環境づくり
- イ) 母子保健の推進

【主な重要業績評価指標(KPI)】

- ・子育て応援事業所促進奨励金給付者数
- ・特定不妊治療費助成件数
- 等

②子どもが安心して育つ環境づくり

【取り組み項目】

- ア) 子育て支援の充実
- イ) 教育環境の充実

【主な重要業績評価指標(KPI)】

- ・保育所等の待機児童数
- ・コミュニティ・スクール導入率
- 等

(4)安全安心でいきいきと暮らせるまちをつくる

【数値目標】

- 帯広市が住みやすいと思う人の割合
- 地域福祉ボランティア登録者数
- 自主防災組織活動カバー率

①支え合いの地域づくり

【取り組み項目】

- ア) 高齢者・障害者の生活支援
- イ) 外国人が生活しやすい環境づくり
- ウ) 地域防災力の強化

【主な重要業績評価指標(KPI)】

- ・市民活動プラザ六中利用者数
- ・親子防災講座実施学校数
- 等

②快適な都市環境の確保

【取り組み項目】

- ア) 自然環境の保全
- イ) 地域公共交通の確保
- ウ) 中心市街地の活性化
- エ) 既存ストックの適正管理等の推進

【主な重要業績評価指標(KPI)】

- ・路線バス年間利用者数
- ・中心市街地歩行者通行量(平日)
- 等

③市民活動の活性化

【取り組み項目】

- ア) 地域コミュニティの支援
- イ) 多様な主体の活躍促進

【主な重要業績評価指標(KPI)】

- ・コミュニティ活動に関する研修会参加者数
- ・審議会等への女性の参画率
- 等